

概 要

○事業報告

急速な少子・高齢化の進展や厳しい社会経済情勢が続く中、家族関係の変化や住民相互のつながりの希薄化などから、社会的孤立、経済的困窮や子どもの貧困問題などの深刻な生活課題が表れてきています。

そのような中、市と一体的な地域福祉を推進するため、本会の第4次高萩市地域福祉活動計画を市の地域福祉計画と整合性を図り、合同で策定しました。

また、本市の地域福祉の推進と向上を目指して、次の目標に重点を置き、各種事業に取り組みました。

1. 【住民の主体的な地域福祉活動の推進】

社協支部を中心として、住民主体の地域福祉活動を推進するとともに、身近な生活圏域での見守り・支え合い活動、地域課題を解決していく共助の仕組みづくりに取り組むため、地域ぐるみの健康づくりや認知症サポーター養成講座等、各種研修会を実施しました。

2. 【ボランティアの啓発と福祉教育の推進】

生活困窮世帯の子どもに対して、ボランティア講師の協力を得ながら、学習支援や学校生活の悩み相談について、助言等を実施しました。

また、児童・生徒に対して、福祉やボランティア活動への理解・啓発を目的とした福祉ボランティア体験学習を実施しました。

県・市総合防災訓練実施協力によるボランティアセンター設置訓練や防災ボランティア研修会を開催し、防災ボランティアの人材育成に取り組みました。

3. 【在宅福祉事業の推進】

日常生活において支援が必要な方へ生活支援などを行う在宅福祉サービスセンター運営事業や日常生活自立支援事業を実施し、地域で自立した生活を送れるように支援しました。

また、高齢者や障がい者等が安心して地域での生活が続けられるよう、ニーズに合ったきめ細やかな介護保険サービスや障害福祉サービス等の福祉サービスの提供に努めました。

4. 【運営体制の基盤整備】

国の社会福祉法人制度改革に伴い、定款の変更や諸規程等の整備を行い、組織体制の強化や事業運営の透明性の向上に努めました。

法人運営の財政基盤強化のために、社協支部の協力を得て、普通会员の加入促進と特別会員の増強に努めるとともに社協広報紙「福祉たかはぎ」やたかはぎFM等で、社協事業等の広報活動に努めました。

○決算報告

平成28年度収入決算額については、**68,513,604円**で、前年度比較で、**2,902,715円の増(104.4%)**となり、支出決算額については、**70,588,175円**で、前年度比較では、**345,804円の減(99.5%)**となりました。また、公費財産である市補助金をはじめ、社協の最も基盤となる民間財源であります会員会費、寄附金及び共同募金配分等について、行政及び市民の皆さんのご理解とご協力のもと、関係組織や団体と公私協働し、地域福祉の推進に取り組むことができました。

決算内容については、計算書類及び附属明細書のとおりです。

主な事業内容

1. 法人運営事業

(1) 理事会の開催

社会福祉法人として適正な運営と事業の推進を図るため、理事会を適時開催しました。

第1回 平成28年5月24日

- ①評議員の選任について
- ②定款の一部変更について
- ③指定訪問介護事業所運営規程の全部改正について
- ④平成28年度一般会計補正予算(第1号)
- ⑤平成27年度事業報告及び一般会計決算 出席理事12人 出席監事1人

第2回 平成28年6月21日

- ①会長及び副会長の選任について
- ②会長職務代理者の選任について 出席理事13人

第3回 平成28年12月19日

- ①定款の全部変更について
- ②評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
- ③評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ④第44回高萩市社会福祉大会について 出席理事12人 出席監事1人

第4回 平成29年3月24日

- ①定款施行細則の制定について
- ②役員・評議員選任規程の制定について
- ③会員規程及び事務局規程の一部改正について
- ④経理規程の制定について
- ⑤社会福祉基金規程の一部改正について
- ⑥会長の利益相反行為及び双方代理行為の承認を求めることについて
- ⑦評議員選任候補者の推薦について
- ⑧訪問介護事業等経営基金の一部処分について
- ⑨平成28年度資金収支補正予算(第2号)
- ⑩平成29年度事業計画及び資金収支予算 出席理事12人 出席監事2人

(2) 評議員会の開催

社会福祉法人として適正な運営と事業の推進を図るため、評議員会を適時開催しました。

第1回 平成28年5月24日

- ①理事の補充選任について
- ②定款の一部変更について
- ③平成28年度一般会計補正予算(第1号)
- ④平成27年度事業報告及び一般会計決算 出席評議員23人 出席理事1人 出席監事1人

第2回 平成28年6月9日

- ①理事の選任について
- ②監事の選任について 出席評議員29人 出席理事1人

第3回 平成28年12月19日

- ①定款の全部変更について 出席評議員27人 出席理事1人

第4回 平成29年3月24日

- ①社会福祉基金規程の一部改正について
- ②訪問介護事業等経営基金の一部処分について
- ③平成28年度資金収支補正予算(第2号)
- ④平成29年度事業計画及び資金収支予算 出席評議員26人 出席理事1人

主な事業内容

(3) 監事による決算監査

法人運営の適正化を図るため、定期監査を実施しました。

平成 28 年 5 月 6 日 出席監事 2 人

(4) 社会福祉基金の管理

社会福祉基金の適正な管理に努めました。

前年度末残高 40,271,276 円

利 息 6,000 円

当年度末残高 40,277,276 円

(5) たかはぎ FM で福祉情報番組「福祉たかはぎ」を放送

平成 28 年 4 月から、社協事業や社協支部活動、ボランティア活動等の情報提供を行いました。

放送時間帯 月曜日から金曜日の午前 11 時 45 分前後(5 分程度)

(6) 社協広報紙「福祉たかはぎ」発行

社協広報紙「福祉たかはぎ」にて、社協事業や福祉情報等を住民に発信し、啓発を行いました。

年 4 回発行 (第 84 号～第 87 号) 計 878,342 円

(7) ホームページの運営 (<http://www.takahagi-shakyo.jp/>)

社協ホームページにて、社協事業や福祉情報等を住民に発信し、啓発を行いました。

維持管理業務料 計 128,520 円

(8) 第 4 次地域福祉活動計画策定 (平成 29 年度～平成 33 年度)

地域福祉の推進のために住民主体の地域福祉活動の具体的内容を定める地域福祉活動計画を地域福祉計画と一体的に策定しました。

①策定委員 12 人

②委員会開催

第 1 回 平成 29 年 1 月 16 日

第 2 回 平成 29 年 3 月 6 日

第 3 回 平成 29 年 3 月 27 日 (地域福祉計画策定委員会合同開催)

③アンケート調査 配布数 1,512 人、回収数 904 人、回収率 59.8%

2. 地域福祉推進事業

(1) 社協支部役員研修会の開催

社協支部との連携と活性化を目的に研修会を開催しました。

第 1 回 平成 28 年 7 月 20 日

①講演「自分を守り、地域を守る！天災は、忘れられた頃、来る」

講師 NPO 法人 茨城県防災士ネットワーク 小川 欽也 氏、櫛田 英 氏

②社協支部助成金等について 社会福祉協議会職員

③高萩市介護サポーターについて 市高齢福祉課職員

④たかはぎ FM について たかはぎ FM 職員

参加者 48 人

第 2 回 平成 29 年 2 月 28 日

①シルバーリハビリ体操について

講師 高萩市シルバーリハビリ体操指導士会、市高齢福祉課職員

②社協支部活動報告について 向洋台支部、山手地区北支部、行人塚石河原支部

③高萩市環境美化活動について 市環境衛生課職員

④報告書等の提出について 社会福祉協議会職員

参加者 43 人

主な事業内容

(2) 社協支部活動費交付金の交付 (29 支部)

社協支部が行う地域福祉活動に対し、活動費を交付しました。

第 1 種会員会費 3,818,300 円×80%＝ 3,054,640 円

(3) 防犯灯設置等補助金の交付

防犯灯を設置又は補修した支部に対し補助金を交付しました。

13 支部 37 カ所 計 355,787 円

(4) 社協支部事務費交付金の交付

社協支部に対し、事務費を交付しました。

15,000 円×29 支部＝435,000 円

(5) 社協支部敬老行事事業助成金の交付

社協支部が行う敬老行事の実施に対して助成金を交付しました。

28 支部 計 533,126 円 (1 支部平均 19,040 円)

(6) 在宅高齢者等支援事業助成金の交付

社協支部が行う配食サービス、友愛訪問、ふれあいいいききサロン事業実施に対して助成金を交付しました。

支部名	内容			金額(円)
	配食サービス	友愛訪問	ふれあいいいききサロン	
社協高萩支部	—	○	—	25,000
社協安良川支部	○	○	○	100,000
社協東地区南支部	○	—	—	100,000
社協東地区北支部	—	○	—	7,000
社協山手地区北支部	○	○	—	86,156
社協向洋台支部	—	—	○	56,250
社協行人塚石河原支部	—	○	—	11,619
社協上手綱南組支部	—	○	○	27,469
社協上手綱北組支部	—	○	—	15,250
社協上手綱下組支部	—	○	—	20,357
社協秋山中支部	—	—	○	31,136
社協秋山上北方支部	—	○	—	4,711
社協秋山下支部	—	○	—	3,420
社協島名下支部	—	○	—	1,470
社協山手地区南支部連協	—	○	—	49,025
計	3	12	4	538,863

(7) 児童養護施設入所児就職・進学支度金支給

児童養護施設に入所する児童に対し、就職進学支度金を支給しました。

50,000 円×就職 5 人＝250,000 円

(8) 85 歳者敬老祝品 (タオル) の贈呈

社協支部の協力のもと 85 歳者に対し、敬老祝品バスタオルを贈呈しました。

贈呈対象者 212 人 計 424,000 円

主な事業内容

(9) 地域福祉活動事業補助金の交付

地域福祉の推進を図るため、社協と協働・連携して事業を行う団体に対し、交付しました。

団体名（事業内容等）	金額(円)
身体障害者福祉協議会	20,000
障がい者の集い実行委員会(障がい者の集い)	70,000
高齢者クラブ連合会（スポーツ大会、高齢者福祉大会）	90,000
視覚障害者福祉協議会	20,000
母子寡婦福祉会（親子すこやか交流事業、母子草購読料）	82,000
遺族会	20,000
計	302,000

(10) 災害見舞金の支給

市民が災害を受けたときに被災者に対して災害見舞金を支給し、市民の生活安定と福祉の増進を図りました。

区分		件数	金額（円）
火災	全焼	4	80,000
	半焼	1	10,000
	死亡	0	0
計		5	90,000

(11) 第44回高萩市社会福祉大会の開催

社会福祉事業に功労のあった者、社会福祉活動が優秀な社会福祉団体及び社会福祉活動に協力援助した功績顕著な者を顕彰し、社会福祉の進展に資することを目的に開催しました。

平成29年2月18日 総合福祉センター多目的ホール

受賞者 24人

- ・民生委員・児童委員 2人
- ・社会福祉協議会役職員及び支部役員 5人
- ・社会福祉施設の職員 7人
- ・社会福祉団体の役員 4人
- ・個人、団体及びその団体役員 3人
- ・感謝 3人
- ・アトラクション「ハッピーチルドレン」

高萩市立松岡幼稚園児

参加者 300人

(12) 第66回茨城県社会福祉大会への参加

社会福祉事業に功労のあった者、社会福祉活動が優秀な社会福祉団体及び社会福祉活動に協力援助した功績顕著な者が顕彰されました。

平成28年10月28日 茨城県立県民文化センター

受賞者 茨城県知事表彰 1団体、2人

茨城県社会福祉協議会会長表彰 5人

(13) 茨城県・高萩市総合防災訓練に参加

茨城県・高萩市総合防災訓練の実施に合わせて、災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。

平成28年8月27日 高浜スポーツ広場

日赤防災ボランティア、JC茨城ブロック協議会、天理教ひのきしん隊、傷病者役ボランティア、

県・市社協職員 参加者 78人

主な事業内容

(14) 共同募金配分調査及び福祉資金貸付調査

民生委員に対し、各種調査実費弁償費を交付しました。

民生委員実費弁償費 2,000円×56人=112,000円

(15) 歳末たすけあい募金配分金

支援を必要としている世帯等への見舞金や年末年始に交流事業等を実施した団体に対して配分を行いました。

対 象	対象者数等	金額(円)
要援護世帯	7世帯	80,000
要援護一人暮らし高齢者世帯	3世帯	30,000
児童養護施設入所児	68人	341,188
歳末福祉対策事業	29支部・1連協	1,271,148
社会福祉施設餅米配分経費	市内10施設	35,640
福祉団体支援事業	8団体	404,968
福祉情報提供(広報)事業		438,264
計		2,601,208

(16) 低所得世帯等に対する小口生活資金の貸付及び援助指導

福祉相談窓口として、生活不安を抱える低所得世帯の経済的自立を支援するため、福祉資金貸付の適正な実施に努めました。

相談2件、貸付2件(貸付金 50,000円)

(17) 生活福祉資金の貸付及び援助指導(県社協受託事業)

民生委員に対し、貸付調査実費弁償費を交付しました。

民生委員実費弁償費 2,000円×18人=36,000円

貸付事務費 43,500円 相談6件、貸付0件

3. ボランティア活動推進事業

(1) 社協ボランティアセンター運営委員会の開催

地域におけるボランティア活動の振興と市民の善意を適正かつ効果的に活用するため、運営委員会を開催しました。

第1回 平成28年7月21日

- ①委員長、副委員長の選任について
- ②平成27年度善意銀行預託及び配分実績報告について
- ③平成28年度善意銀行預託及び配分中間報告について
- ④平成28年度善意銀行配分について

第2回 平成29年3月6日

- ①平成28年度善意銀行預託及び払出状況報告について
- ②平成28年度事業及び決算見込報告について
- ③平成29年度事業計画及び予算について(案)
- ④平成29年度善意銀行配分(各種団体の事業)について(案)

(2) 善意銀行預託者(香典返しの一部)への回転灯籠、線香贈呈

預託者(香典返しの一部)に、故人の新盆前に回転灯籠、線香の贈呈をしました。

線香 5件 回転灯籠 1件 計 21,587円

主な事業内容

(3) ボランティア活動保険料助成

ボランティア活動保険の加入受付及び保険料の助成を行いました。

プラン	加入者数(人)	市社協助成(円)	加入者負担(円)	合計(円)
基本タイプ	692	72,700	136,400	209,100
天災タイプ	8	320	4,000	4,320

(4) 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校の指定と支援

社会福祉の理解と関心を高め、ボランティア実践、社会連帯の精神を養成するため、児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校を指定し、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図りました。

指定校 11 校 (市内小学校 5・中学校 4 校・高校 2 校) 計 220,000 円

(5) 小学生福祉体験学習の開催

小学生を対象に社会福祉への理解と関心を高め、福祉の芽を育てることを目的に開催しました。

平成 28 年 7 月 29 日

講話「アイメイトと二人五脚」

講師 佐藤 由紀子 氏、盲導犬ライムちゃん

高齢者・障害者疑似体験、車椅子体験、ブラインドウォーク体験

参加者 市内小学 6 年生 27 人 計 40,121 円

(6) 中学生福祉体験学習の開催(障がい者サポーター養成講座同時開催)

中学生を対象に社会福祉への理解と関心を高め福祉の芽を育てることを目的に開催しました。

平成 28 年 7 月 28 日

①障がい者サポーター養成講座 講師 市社会福祉課職員

②点字体験 講師 たかはぎ点訳友の会

③障がい者等疑似体験 講師 社協職員、高校生会

④介護体験 講師 社協介護支援専門員、サービス提供責任者

参加者 市内中学生 12 人 計 26,182 円

(7) ボランティア連絡会への補助及び協力 補助金 計 230,000 円

ボランティア連絡会に補助金を交付し、ボランティア活動の活性化を図りました。

①視察研修の実施

平成 28 年 10 月 14 日 国際福祉機器展 参加者 30 人

②福祉のまちづくり研究集会(ボランティア交流会)

平成 29 年 2 月 23 日

講演「ボランティア・地域活動の輪を広げよう～参加者・協力者を増やすには～」

講師 NPO 法人日本ファシリテーション協会 フェロー 徳田 太郎 氏

参加者 78 人

(8) ボランティアグループ活動費助成

ボランティアグループに助成金を交付し、ボランティア活動の活性化を図りました。

ボランティアグループ 8 団体 計 97,900 円

主な事業内容

(9) 傾聴ボランティアフォローアップ講座

傾聴ボランティア養成講座の受講生を対象に技術の向上を図ることを目的として開催しました。

平成 28 年 4 月 25 日

講師 傾聴ゆうくらぶ 代表 安西 健二 氏

施設研修 13 回、意見交換会 3 回

計 22,044 円

(10) 障がい者サポーター養成講座

養成講座を通して、障害のある方の立場になって考えるとともに、そのサポート方法を学ぶことで、障害に対する理解を深めることを目的として、市社会福祉課と共催で開催しました。

平成 28 年 7 月 28 日 参加者 中学生 12 人、高校生 8 人 計 20 人

(11) ふくしボランティアまつりの開催

まつりを通して、ボランティア活動や福祉活動への理解と交流の場を提供することを目的として開催しました。

平成 28 年 11 月 5 日 総合福祉センター、来場者数 約 1,000 人

公演、福祉体験コーナー、福祉活動パネル展示コーナー、フリーマーケット

工作体験コーナー、防犯と青少年健全育成キャンペーン等 実行委員会の開催 (3 回)

計 303,545 円

(12) 防災ボランティア研修会の開催 (日本赤十字社茨城県支部高萩市地区と共催)

災害時に必要な知識や技術をもって対応していただける防災ボランティアを養成することを目的として開催しました。

平成 29 年 1 月 18 日 総合福祉センター

講義・実技「災害時高齢者生活支援について」

講師 日本赤十字社茨城県支部職員 参加者 56 人

計 13,684 円

(13) 視覚障がい者等へ市報の音訳・点訳サービスの支援及び協力

市内の視覚障がい者等に市報、議会だより、福祉たかはぎを音訳、点訳して情報提供しました。

市報の音訳 高萩読み聞かせグループ 利用者 6 人

点訳サービス たかはぎ点訳友の会 利用者 4 人

計 30,240 円

(14) 福祉体験用具の貸し出し

福祉体験学習等を実施する学校や団体等に体験用具の貸し出しを行いました。

車イス、シニア体験セット、視覚障がい者体験セットの貸し出し

4 件 (小学校 3 校、市危機対策課)

主な事業内容

(15) 善意銀行運営事業

市民の善意を適正かつ効果的に活用するため、適正な運営に努めました。

預託

区分	件数	金額(円)
金員	51	1,679,816
物品※	2	—
計	53	1,679,816

※未使用タオル、もち米

配分

区分	件数	金額(円)
指定		
社協秋山上北方支部	1	30,000
社協上手綱下組支部	1	30,000
社協高戸支部	1	30,000
社協秋山下支部	1	30,000
社会福祉団体等		
子ども会育成連合会(サマージャンボリー)	1	64,000
子ども会育成連合会(萩っ子歴史探検隊)	1	94,000
青少年相談員協議会(少年探検講座「花貫川の源流を探る」)	1	16,100
社協事業		
心配ごと相談所運営費	1	518,935
在宅福祉サービスセンター運営費	1	859,831
ボランティア協力校助成金	3	60,000
愛の鐘修理等費用(大能地区)	1	68,580
社会福祉大会経費	3	31,000
児童施設入所児就職進学支度金	3	150,000
計	19	1,982,446

前年度末残高	8,050,108 円
預託金	1,679,816 円
配分金	1,982,446 円
当年度末残高	7,747,478 円

(16) 使用済み切手、使用済みプリペイドカード、プルタブ、ペットボトルキャップの収集

市民や学校、企業、団体の方々より、多くの物品の収集にご協力をいただきました。

使用済み切手と使用済みプリペイドカードは、茨城県社会福祉協議会へ、プルタブとペットボトルキャップは、回収業者を通して、ボランティア活動や社会貢献活動に協力しました。

主な事業内容

4. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 暮らしに活かす介護教室

福祉・介護分野に関する知識や技術を提供し、福祉・介護人材の参入促進を図るために開催しました。

平成 29 年 3 月 7 日

- ①講義「社会福祉協議会の事業について」
- ②実技「家庭で実践できる介護技術の基礎」 参加者 14 人

(2) 「食」の自立支援サービス事業（配食サービス事業）

たかはぎ食事サービスグループと運転ボランティアの協力のもと、おおむね 65 歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、月に 1 回ボランティアの手作りによるお弁当を提供するとともに利用者の安否確認を行いました。

実施状況 年間実利用者数 139 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月
利用者数	101	103	102	104	112	108
利用料金	14,100	14,700	13,800	14,400	15,600	15,200

11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
104	107	104	110	111	1,166
14,400	14,900	14,000	15,200	15,100	161,400

計 868,571 円

(3) 在宅福祉サービスセンター運営事業

住民参加による支え合い活動として、利用会員・協力会員の登録によるサービスの実施とコーディネーターによる相談・調整支援を実施しました。

①会員・利用者の構成

在宅福祉サービス

登録協力会員(人)	登録利用会員(人)	実利用者(人)
28	125	29

②在宅福祉サービスの利用状況

サービス名	在宅福祉サービス	
	回数	時間
食 事	20	40
掃 除	402	544
買 物	105	112
衣類洗濯	1	1
通院付添	6	22
身辺世話	4	4
子 育 て	82	74
計	620	797

主な事業内容

- ③協力会員研修会の開催
 - 第1回 平成28年4月15日
 - ・在宅福祉サービスセンター運営実施要項の改正について
 - ・意見交換 参加者 11人
 - 第2回 平成29年1月27日
 - ・応急手当講習会（普通救命講習） 参加者 11人
- ④事務局体制 在宅福祉サービスセンターコーディネーター 1人

5. 心配ごと相談所運営事業

(1) 心配ごと相談所運営事業

市民の生活上の様々な相談を受け、必要に応じて関係機関を紹介するなど、適切な助言、援助を行いました。

①開設日 毎月第2・4週木曜日（内月1回弁護士相談）

一般相談 12回、法律相談 12回

②相談員 民生委員児童委員4人、弁護士3人

③相談内容

相談事項	財産	家族	離婚	住宅	生計	結婚	医療	精神	苦情	事故	その他	計
相談件数	20	2	2	4	1	1	2	1	2	3	4	42
(内弁護士相談件数)	18	2	2	3	1	1	1	1	1	3	4	37

計 588,865円

6. 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不十分な方が地域で自立した生活を送ることが出来るように福祉サービス等の利用援助を行うことにより、本人の権利擁護に資することを目的に実施しました。

①実施利用状況

○相談援助件数(問い合わせ・相談援助件数)

認知症高齢者等 15件・知的障がい者等 37件・精神障がい者等 13件・不明、その他 1件
計 66件

○契約締結件数

認知症高齢者等 2件 計 2件

○終了件数

計 0件

○実利用件数 (3月末日現在)

認知症高齢者等 2件・知的障がい者等 3件・精神障がい者等 1件 計 6件

②事務局体制

専門員 1人、生活支援員 2人

計 440,700円

主な事業内容

7. 子どもの学習支援事業

(1) 子どもの学習支援事業

生活困窮世帯等の児童・生徒に対し、学習支援や進学に関する助言等について、ボランティアの講師が、毎週1回、実施しました。

①実施利用状況

○実利用者(生徒)数 43人

学年	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	計
生徒数	1	9	5	5	11	7	5	43

○延利用者数 1,044人

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延利用者数	108	123	83	87	42	91

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
119	99	71	89	95	37	1044

○ボランティア講師 21人

○年実施回数 47回

8. 介護保険事業

(1) 訪問介護事業

利用者が有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活が営むことが出来るよう利用者の選択により、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

①契約者数 54人

②提供時間 身体介護 130.5時間、生活援助 2155.0時間 身体生活 551.5時間

③ホームヘルパー研修会開催及び参加

○内部研修

第1回	平成28年5月18日	ケースカンファレンス	出席者7人
第2回	平成28年6月15日	ケースカンファレンス	出席者6人
第3回	平成28年9月14日	ケースカンファレンス	出席者8人
第4回	平成29年1月27日	普通救命講習	出席者11人

○外部研修

平成28年6月17日、22日	サービス提供責任者専門研修	出席者1人
平成28年6月28日	訪問介護員中央研修	出席者2人
平成28年8月29日	訪問介護員スキルアップ研修	出席者2人

④事業所体制 サービス提供責任者2人、ホームヘルパー8人

⑤訪問介護事業等経営基金の管理

ホームヘルプサービス事業所及び指定居宅介護支援事業所が行う訪問介護事業所等の健全な経営に努めました。

前年度末残高	20,040,050円
利息	6,410円
当年度取崩額	5,000,000円
当年度末残高	15,046,460円

主な事業内容

(2) 居宅介護支援事業

利用者並びにその介護者等の日常生活支援のため、関係機関、事業所と連携し、適正なケアプランの作成に努めました。また、予防プランの作成及び、要介護認定調査を受託事業として実施しました。

①指定居宅介護支援事業

- 介護支援 ケアプラン策定者数 45人
- 介護予防 介護予防ケアプラン策定者数 13人
- 平成28年度新規契約者数 14人

②事業所体制 介護支援専門員1人

9. 障害福祉サービス事業

(1) 障害福祉サービス事業

障がい者が、居宅において日常生活を営むことが出来るようその障がい者の状況及び環境に応じて、身体介護やの家事援助等のサービスを提供しました。

①障害福祉サービス事業

- 契約者数 6人
- 提供時間 身体介護 17.0時間、家事援助 833.5時間、移動介護 40.5時間

②障害者等移動支援事業

- 契約者数 4人
- 提供時間 移動支援 208時間

③事業所体制 サービス提供責任者2人、ホームヘルパー7人、ガイドヘルパー1人

